

サードプレイスと幸福感との関連性とその立地に関する研究

交通まちづくり学研究室2022年度修士研究 今村陽子

研究の背景・目的

サードプレイスとは

一般的に「家と職場以外の第三の居場所」とされる

- ・1989年アメリカで、人々の孤独感の低減や幸福感の向上を図る機能を持つものとして提唱された
- ・義務や必要性に縛られるのではなく、自らの心に従い進んで向かう場所

現在の日本において、サードプレイスは幸福感を向上させるのだろうか
サードプレイスは実際どのような場所にあるのだろうか

本研究の目的

- ◆ サードプレイスを持つことが幸福感に与える影響を、東京と地方の地域差、またコロナの影響も含めて明らかにする
- ◆ 地方部の中心市街地内のサードプレイスの特徴について考察する

本研究のサードプレイスの定義

- 家と職場以外の日常生活で訪れる第三の居場所
- 居心地が良い、馴染み、お気に入りの場所
- 自ら積極的にいこうと思える場所
- 2, 3カ月程度に一度は訪れる場所

以上4つの条件を満たす場所とする。

※恋人、友人、親戚の家等の私的な場所は含まれない。

※生活上必要不可欠なものは除く。(例：スーパーでの買い物、病院、等)

※チェーン店の場合は特定の店舗まで特定して一つの場所とする。

サードプレイスの例

- | | | |
|----------|---------------|--------------|
| カフェ・喫茶店 | 通っている教室 | ゲームセンター・パチンコ |
| 居酒屋・バー | 図書館・書店 | ネットカフェ・マンガ喫茶 |
| 部活・サークル | 釣り場 | ライブ会場・観戦場 |
| ジム・プール | 公園・ストリート | エステ・サロン 等 |
| 公民館・地域活動 | アパレルショップなどの店舗 | |



調査概要

■ 全国を対象としたWEBアンケートと、高知市を対象としたWEBアンケートを実施

調査名	日常的な「サードプレイス」についてのアンケート調査	調査名	高知市を対象としたサードプレイスに関するアンケート調査
調査期間	2021年1月7日～10日	調査期間	2022年10月8日～11月21日
回答数	888	回答数	374
有効回答数	881	有効回答数	297
形式	Web調査	形式	ポスティングと高知市の職場での調査依頼によるWEB調査
対象地域 (回答数)	東京都(439人) 大都市圏以外の37県(442人)	対象	高知市に住む18歳以上
調査対象年齢	20代から50代	主な調査項目	・サードプレイスの有無 ・サードプレイスの位置、居住地・職場の住所 ・サードプレイスについて ・幸福感について ・個人属性
主な調査項目	・コロナ前とコロナ禍のサードプレイスについて ・生活満足度や幸福感について ・生活の嗜好性について ・個人属性		

分析 東京と地方の比較

コロナ前とコロナ禍の、地域とサードプレイスの場所・交通手段とのクロス集計表

コロナ前				コロナ禍			
	東京	地方	P値		東京	地方	P値
サードプレイスの有無			0.0068 **	サードプレイスの有無			0.4116
持つ (n=343)	191(43.5%)	152(34.4%)		持つ (n=237)	124(28.2%)	113(25.6%)	
持たない (n=538)	248(56.5%)	290(65.6%)		持たない (n=644)	315(71.8%)	329(74.4%)	
サードプレイスの場所			0.0188 *	サードプレイスの場所			0.0432 *
飲食店 (n=144)	94(50.0%)	50(33.1%)		飲食店 (n=80)	45(36.3%)	35(31.0%)	
習い事やサークルの場所等 (n=41)	28(14.9%)	13(8.6%)		習い事やサークルの場所等 (n=32)	22(17.7%)	10(8.8%)	
公共の場・外 (n=35)	17(9.0%)	18(11.9%)		公共の場・外 (n=34)	18(14.5%)	16(14.2%)	
ショップ・ゲームセンター・サロン等の施設 (n=68)	24(12.8%)	44(29.1%)		ショップ・ゲームセンター・サロン等の施設 (n=51)	17(13.7%)	34(30.1%)	
図書館書店 (n=40)	19(10.1%)	21(13.9%)	図書館書店 (n=29)	16(12.9%)	13(11.5%)		
その他 (n=15)	9(4.8%)	6(4.0%)	その他 (n=11)	6(4.8%)	5(4.4%)		
サードプレイスへの交通手段			0.0000 **	サードプレイスへの交通手段			0.0000 **
公共交通 (n=93)	71(37.8%)	22(14.6%)		公共交通 (n=52)	43(34.7%)	9(8.0%)	
自動車・原付・自動二輪車 (n=120)	20(10.6%)	100(66.2%)		自動車・原付・自動二輪車 (n=93)	14(11.3%)	79(69.9%)	
自転車・徒歩 (n=130)	100(53.2%)	30(19.9%)	自転車・徒歩 (n=92)	67(54.0%)	25(22.1%)		

独立性の検定 ** : 1%有意 * : 5%有意
クロス集計の残差分析 下線 : 1%有意 : 5%有意
青字:期待度数より実測度数が高い 赤字:期待度数より実測度数が低い

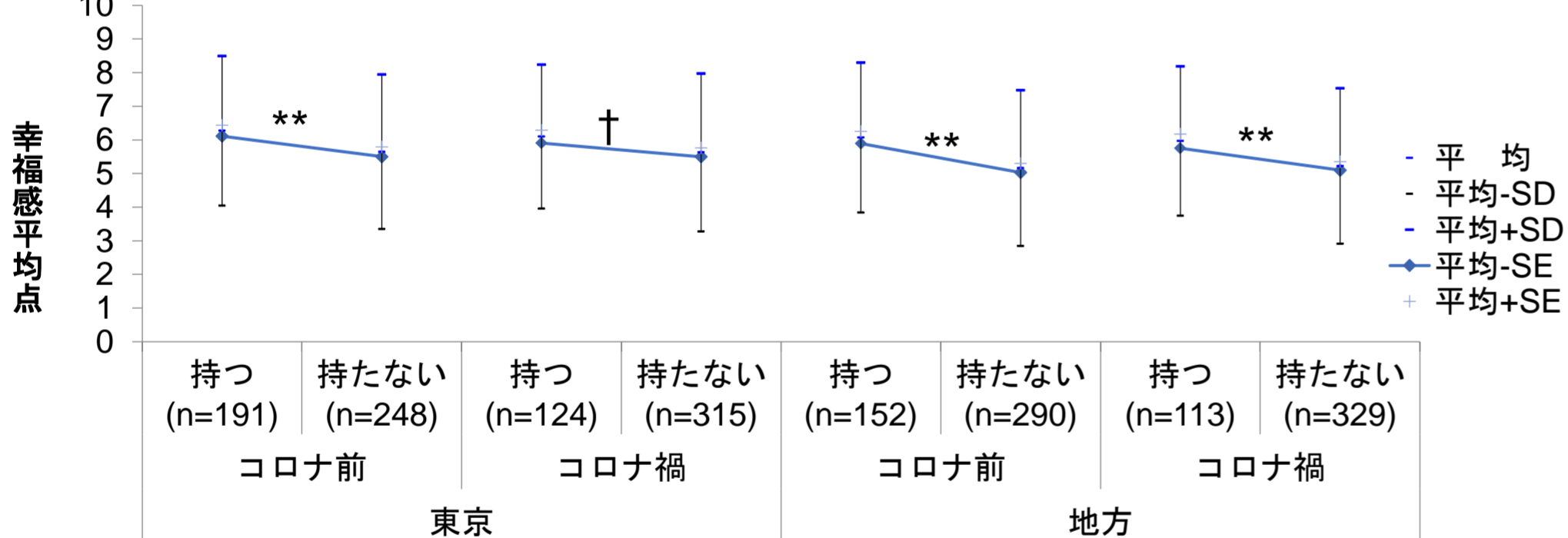
東京と地方で比較すると、

コロナ前: 東京では飲食店が多く、公共交通や自転車・徒歩で行く人が多い、地方ではショップやゲームセンター・サロン等の施設が多く、自動車等で行く人が多い
東京の方がサードプレイスを持つ人が多い

コロナ禍: 東京では飲食店ではなく、習い事やサークルの場所等が多くなっている

サードプレイスと幸福感との関連性

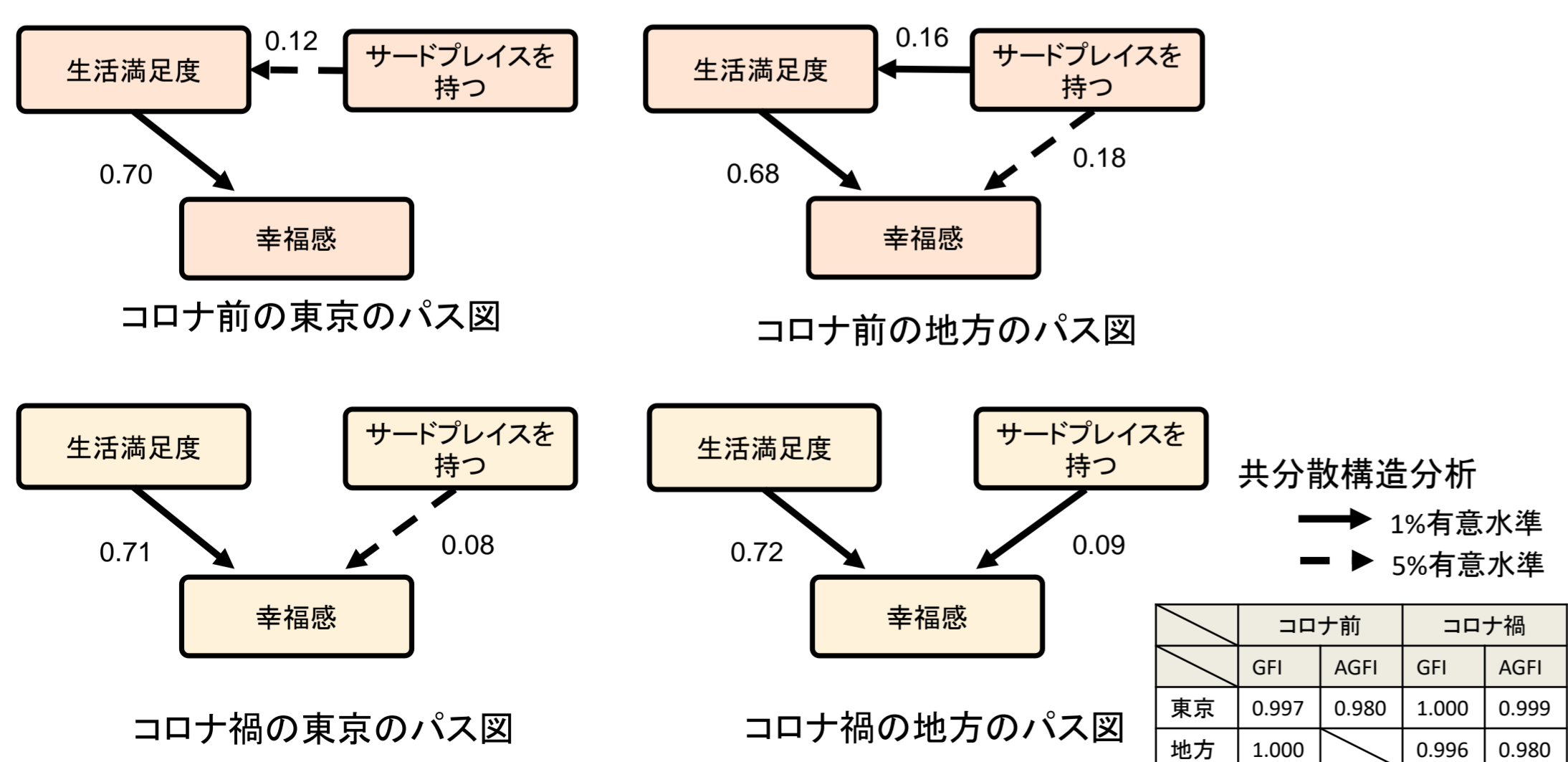
それぞれのパターンでの幸福感平均点



マン=ホイットニーのU検定 1% : ** 5% : * 10% : †

コロナ前の東京、コロナ禍の東京、コロナ前の地方、コロナ禍の地方全てのパターンにおいて、サードプレイスを持つ人は持たない人比べて幸福感が高いことが統計的に示された。

東京と地方それぞれのサードプレイスと幸福感、生活満足度とのパス図



コロナ前はサードプレイスを持つことで生活満足度が高まり、生活満足度が高まると幸福感が高まり、コロナ禍はサードプレイスを持つことで幸福感が高まることがパス図から示された。

コロナ前は間接的に、コロナ禍は直接的にサードプレイスを持つことが幸福感を高めている

高知市中心市街地内のサードプレイスとその特徴

高知市を対象としたアンケートを基に、中心市街地内と中心市街地外にあるサードプレイスの違いを把握した

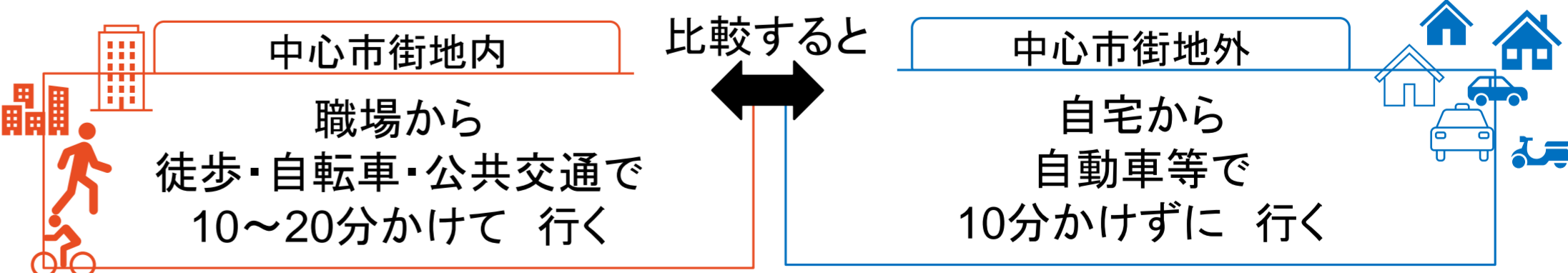
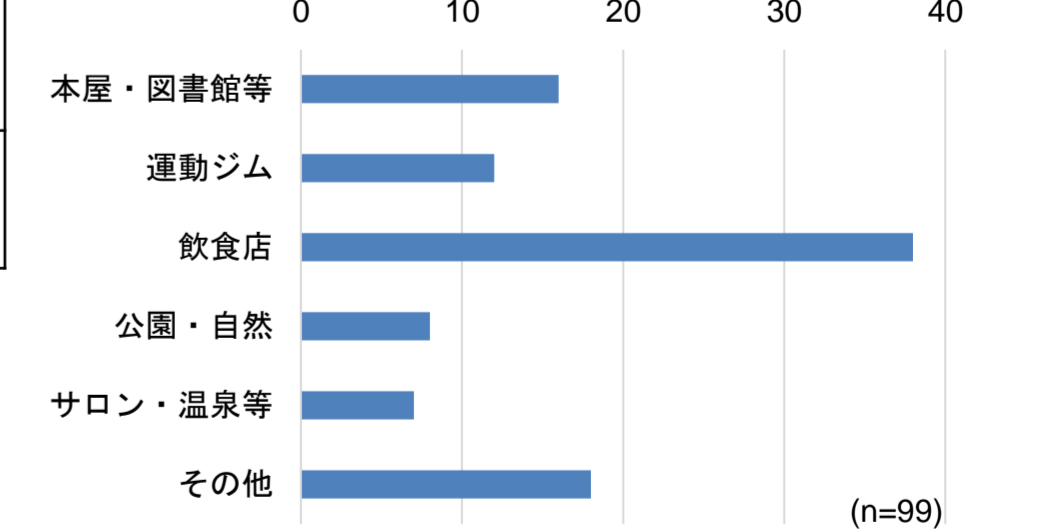
中心市街地内・外にあるサードプレイスと、起点や交通手段等とのクロス集計表

	中心市街地内 (n=23)	中心市街地外 (n=76)	P値
どこから			0.0020 **
自宅から (n=77)	12(52.2%)	65(85.5%)	
職場から (n=22)	11(47.8%)	11(14.5%)	
サードプレイスまでの交通手段			0.0000 **
徒歩・自転車・公共交通 (n=33)	20(87.0%)	13(17.1%)	
自動車・原付・自動二輪車 (n=66)	3(13.0%)	63(82.9%)	
移動時間			0.0083 **
～10分 (n=45)	4(17.4%)	41(53.9%)	
10～20分 (n=38)	13(56.5%)	25(32.9%)	
20～30分 (n=16)	6(26.1%)	10(13.2%)	
普段よく使う移動手段 徒歩			0.0120 *
徒歩を選択 (n=22)	10(43.5%)	12(15.8%)	
徒歩を選択していない (n=77)	13(56.5%)	64(84.2%)	
普段よく使う移動手段 自転車			0.0386 *
自転車を選択 (n=32)	12(52.2%)	20(26.3%)	
自転車を選択していない (n=67)	11(47.8%)	56(73.7%)	
普段よく使う移動手段 公共交通機関			0.0010 **
公共交通機関を選択 (n=10)	7(30.4%)	3(3.9%)	
公共交通機関を選択していない (n=89)	16(69.6%)	73(96.1%)	
普段よく使う移動手段 自動車			0.0293 *
自動車を選択 (n=75)	13(56.5%)	62(81.6%)	
自動車を選択していない (n=24)	10(43.5%)	14(18.4%)	

独立性の検定 ** : 1%有意 * : 5%有意
クロス集計の残差分析 下線 : 1%有意 : 5%有意
青字:期待度数より実測度数が高い 赤字:期待度数より実測度数が低い



サードプレイスの種類別分布



結論

- 東京と地方はサードプレイスの種類や交通手段が異なる
- 東京、地方、コロナ前、コロナ禍いずれにおいてもサードプレイスを持つ人の方が持たない人比べて幸福感が高い
- 高知市の中心市街地内にあるサードプレイスは、職場から行く人や徒歩・自転車・公共交通で行く人、10～20分かけて行く人が多い

サードプレイスと幸福感との関連性とその立地に関する研究

交通まちづくり学研究室2022年度修士研究 今村陽子

研究の背景・目的

サードプレイスとは

一般的に「家と職場以外の第三の居場所」とされる

- ・1989年アメリカで、人々の孤独感の低減や幸福感の向上を図る機能を持つものとして提唱された
- ・義務や必要性に縛られるのではなく、自らの心に従い進んで向かう場所

現在の日本において、サードプレイスは幸福感を向上させるのだろうか
サードプレイスは実際どのような場所にあるのだろうか

本研究の目的

- ◆ サードプレイスを持つことが幸福感に与える影響を、東京と地方の地域差、またコロナの影響も含めて明らかにする
- ◆ 地方部の中心市街地内のサードプレイスの特徴について考察する

本研究のサードプレイスの定義

- 家と職場以外の日常生活で訪れる第三の居場所
- 居心地が良い、馴染み、お気に入りの場所
- 自ら積極的にいこうと思える場所
- 2, 3カ月程度に一度は訪れる場所

以上4つの条件を満たす場所とする。

※恋人、友人、親戚の家等の私的な場所は含まれない。

※生活上必要不可欠なものは除く。(例：スーパーでの買い物、病院、等)

※チェーン店の場合は特定の店舗まで特定して一つの場所とする。

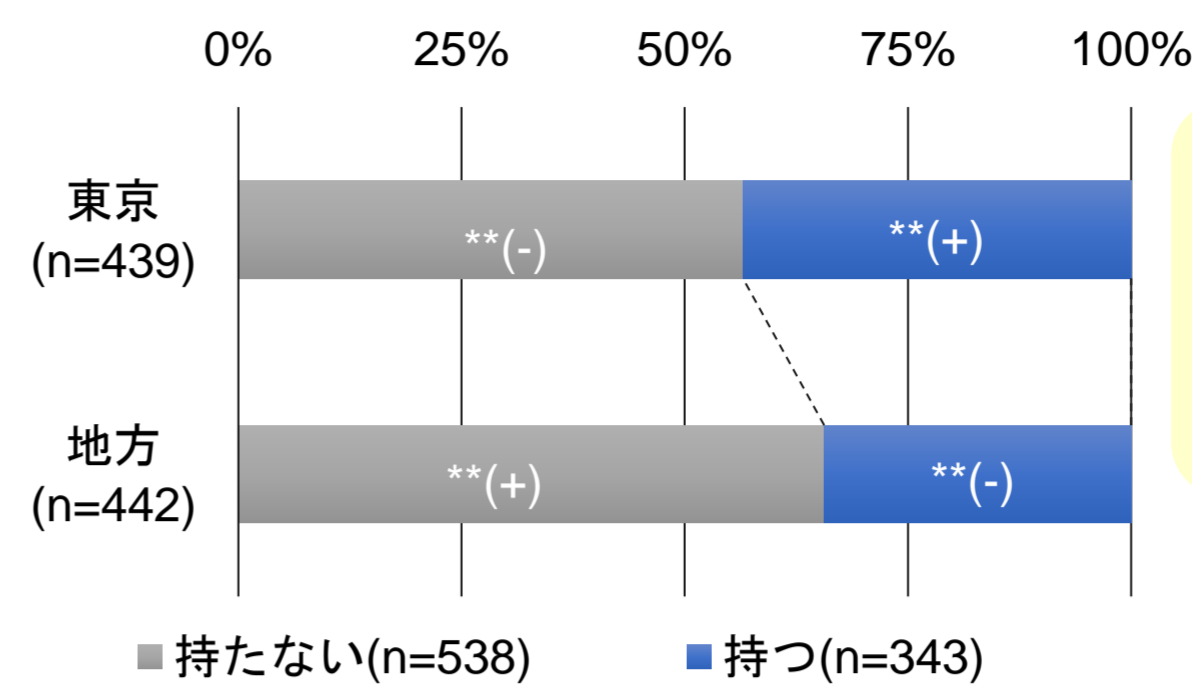


サードプレイスの例

- | | | |
|----------|---------------|--------------|
| カフェ・喫茶店 | 通っている教室 | ゲームセンター・パチンコ |
| 居酒屋・バー | 図書館・書店 | ネットカフェ・マンガ喫茶 |
| 部活・サークル | 釣り場 | ライブ会場・観戦場 |
| ジム・プール | 公園・ストリート | エステ・サロン 等 |
| 公民館・地域活動 | アパレルショップなどの店舗 | |

東京と地方のサードプレイスの違い

コロナ前の地域別サードプレイスを持つ人の割合



コロナ前において、東京は地方に比べてサードプレイスを持つ人の割合が高かった

独立性の検定 P値: 0.0055 1%有意
クロス集計の残差分析 **1%有意 *5%有意
(+)割合が高い (-)低い (n=881)

コロナ前とコロナ禍の、地域とサードプレイスの場所・交通手段とのクロス集計表

項目	東京	地方	P値	項目	東京	地方	P値
サードプレイスの有無			0.0068 **	サードプレイスの有無			0.4116
持つ (n=343)	191(43.5%)	152(34.4%)		持つ (n=237)	124(28.2%)	113(25.6%)	
持たない (n=538)	248(56.5%)	290(65.6%)		持たない (n=644)	315(71.8%)	329(74.4%)	
サードプレイスの場所			0.0188 *	サードプレイスの場所			0.0432 *
飲食店 (n=144)	94(50.0%)	50(33.1%)		飲食店 (n=80)	45(36.3%)	35(31.0%)	
習い事やサークルの場所等 (n=41)	28(14.9%)	13(8.6%)		習い事やサークルの場所等 (n=32)	22(17.7%)	10(8.8%)	
公共の場・外 (n=35)	17(9.0%)	18(11.9%)		公共の場・外 (n=34)	18(14.5%)	16(14.2%)	
ショップ・ゲームセンター・サロン等の施設 (n=68)	24(12.8%)	44(29.1%)		ショップ・ゲームセンター・サロン等の施設 (n=51)	17(13.7%)	34(30.1%)	
図書館書店 (n=40)	19(10.1%)	21(13.9%)		図書館書店 (n=29)	16(12.9%)	13(11.5%)	
その他 (n=15)	9(4.8%)	6(4.0%)		その他 (n=11)	6(4.8%)	5(4.4%)	
サードプレイスへの交通手段			0.0000 **	サードプレイスへの交通手段			0.0000 **
公共交通 (n=93)	71(37.8%)	22(14.6%)		公共交通 (n=52)	43(34.7%)	9(8.0%)	
自動車・原付・自動二輪車 (n=120)	20(10.6%)	100(66.2%)		自動車・原付・自動二輪車 (n=93)	14(11.3%)	79(69.9%)	
自転車・徒歩 (n=130)	100(53.2%)	30(19.9%)		自転車・徒歩 (n=92)	67(54.0%)	25(22.1%)	

独立性の検定 ** : 1%有意 * : 5%有意
クロス集計の残差分析 下線 : 1%有意 : 5%有意
青字:期待度数より実測度数が高い 赤字:期待度数より実測度数が低い 青字:期待度数より実測度数が高い 赤字:期待度数より実測度数が低い

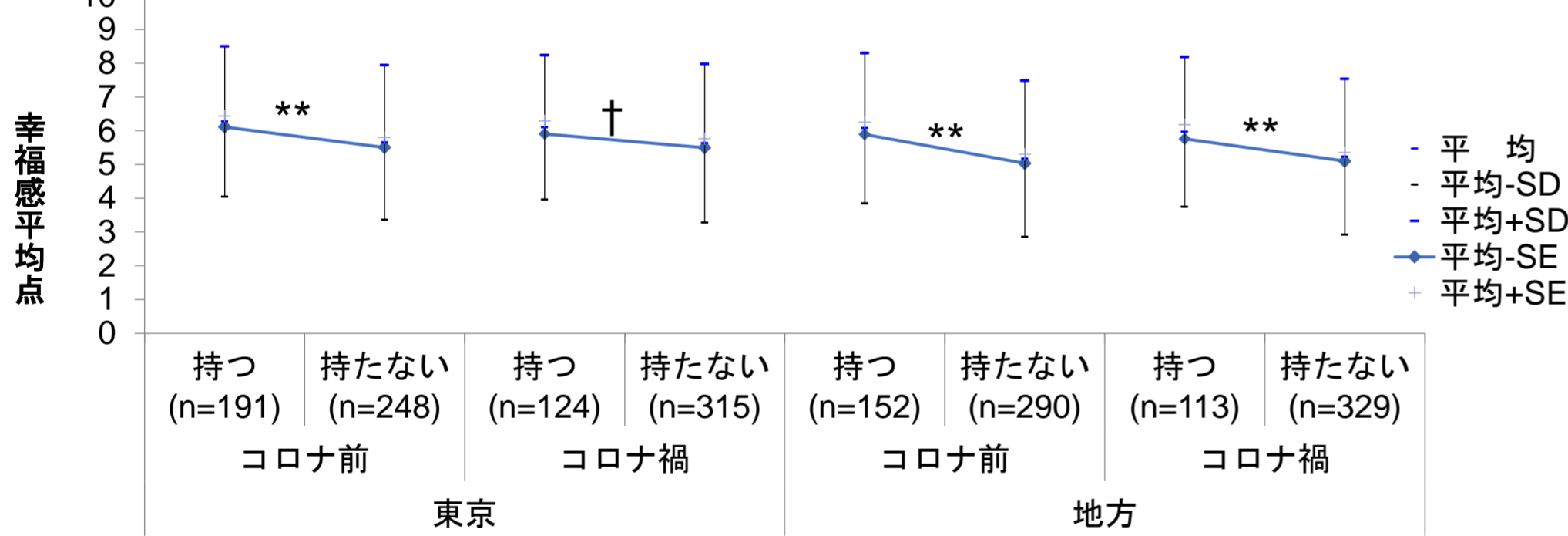
東京と地方で比較すると、

コロナ前:東京では飲食店が多く、公共交通や自転車・徒歩で行く人が多い、地方ではショップやゲームセンター・サロン等の施設が多く、自動車等で行く人が多い

コロナ禍:東京では飲食店ではなく、習い事やサークルの場所等が多くなっていく

サードプレイスと幸福感、生活満足度との関係性

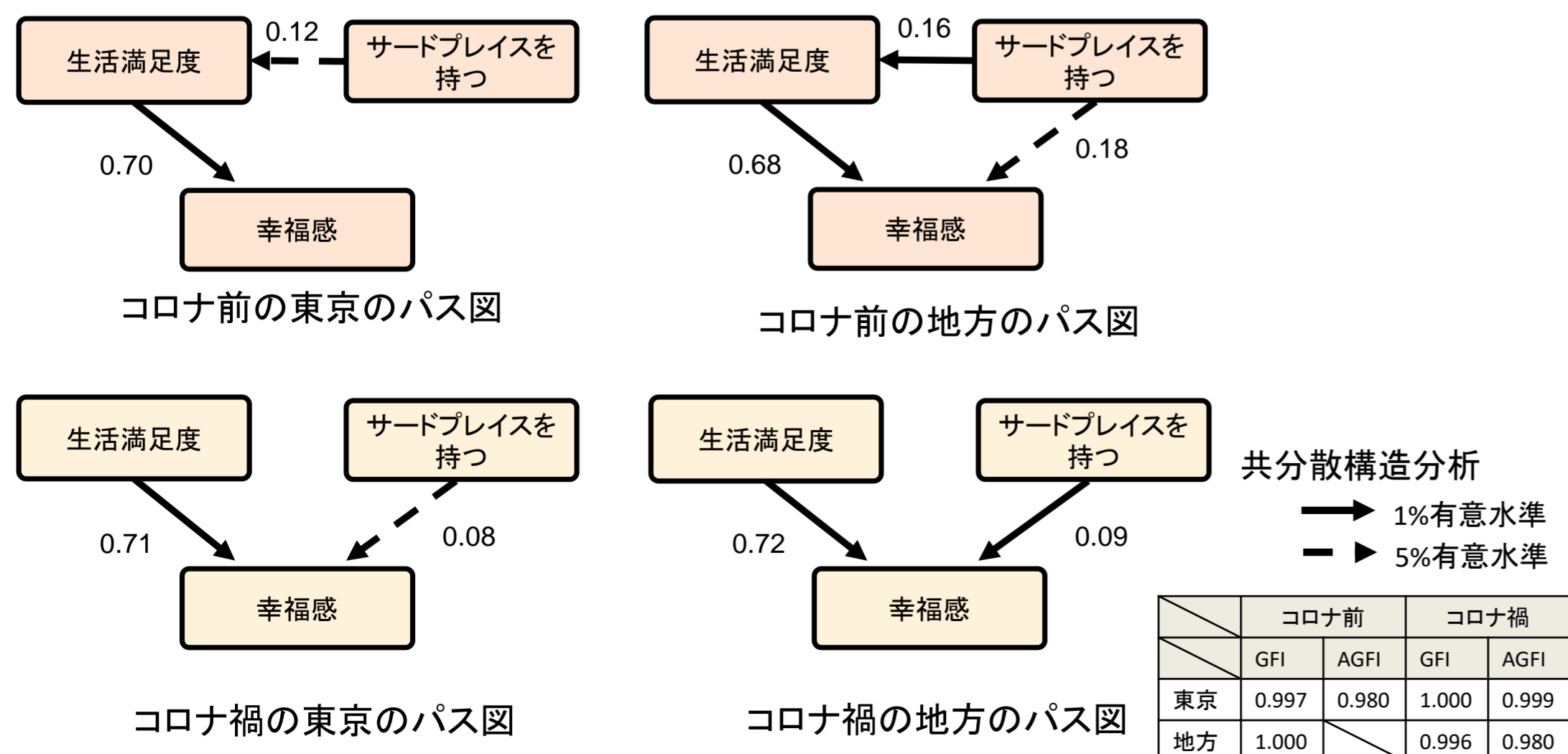
それぞれのパターンでの幸福感平均点



マン=ホイットニーのU検定 1% : ** 5% : * 10% : †

コロナ前の東京、コロナ禍の東京、コロナ前の地方、コロナ禍の地方全てのパターンにおいて、サードプレイスを持つ人は持たない人に比べて幸福感が高いことが統計的に示された。

東京と地方それぞれのサードプレイスと幸福感、生活満足度とのパス図



コロナ前はサードプレイスを持つことで生活満足度が高まり、生活満足度が高まると幸福感が高まり、コロナ禍はサードプレイスを持つことで幸福感が高まることがパス図から示された。

コロナ前は間接的に、コロナ禍は直接的にサードプレイスを持つことが幸福感を高めている

高知市中心市街地内のサードプレイスとその特徴

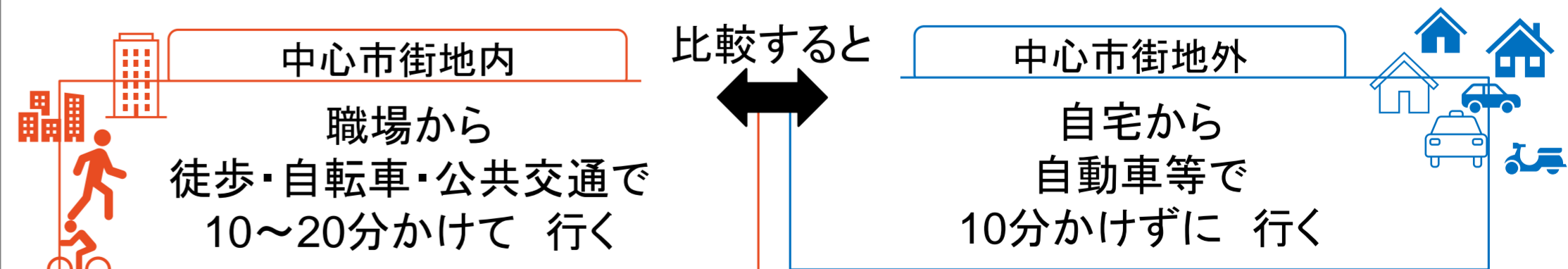
高知市在住の人を対象にサードプレイスの場所を尋ねるアンケートを行い、中心市街地内と中心市街地外にあるサードプレイスの違いを把握した

中心市街地内・外にあるサードプレイスと、起点や交通手段等とのクロス集計表

項目	中心市街地内 (n=23)	中心市街地外 (n=76)	P値
どこから			0.0020 **
自宅から (n=77)	12(52.2%)	65(85.5%)	
職場から (n=22)	11(47.8%)	11(14.5%)	
サードプレイスまでの交通手段			0.0000 **
徒歩・自転車・公共交通 (n=33)	20(87.0%)	13(17.1%)	
自動車・原付・自動二輪車 (n=66)	3(13.0%)	63(82.9%)	
移動時間			0.0083 **
~10分 (n=45)	4(17.4%)	41(53.9%)	
10~20分 (n=38)	13(56.5%)	25(32.9%)	
20~30分 (n=16)	6(26.1%)	10(13.2%)	
普段よく使う移動手段 徒歩			0.0120 *
徒歩を選択 (n=22)	10(43.5%)	12(15.8%)	
徒歩を選択していない (n=77)	13(56.5%)	64(84.2%)	
普段よく使う移動手段 自転車			0.0386 *
自転車を選択 (n=32)	12(52.2%)	20(26.3%)	
自転車を選択していない (n=67)	11(47.8%)	56(73.7%)	
普段よく使う移動手段 公共交通機関			0.0010 **
公共交通機関を選択 (n=10)	7(30.4%)	3(3.9%)	
公共交通機関を選択していない (n=89)	16(69.6%)	73(96.1%)	
普段よく使う移動手段 自動車			0.0293 *
自動車を選択 (n=75)	13(56.5%)	62(81.6%)	
自動車を選択していない (n=24)	10(43.5%)	14(18.4%)	

独立性の検定 ** : 1%有意 * : 5%有意
クロス集計の残差分析 下線 : 1%有意 : 5%有意
青字:期待度数より実測度数が高い 赤字:期待度数より実測度数が低い

高知市中心市街地内のサードプレイス



結論

- 東京と地方はサードプレイスの種類や交通手段が異なる
- 東京、地方、コロナ前、コロナ禍いずれにおいてもサードプレイスを持つ人の方が持たない人に比べて幸福感が高い
- 高知市の中心市街地内にあるサードプレイスは、職場から行く人や徒歩・自転車・公共交通で行く人、10~20分かけて行く人が多い